

基本戦略1 福井の強みに磨きをかけ、現行の戦略を次の段階に高める

（1）技術革新によって新しい商品・サービスをつくる

①地域のイノベーションの仕組みをつくる

②ものづくりの革新（ITの活用によるインダストリー4.0、IoT）などの波に乗り、新しいビジネスをつくる

（2）国内外の需要を積極的に取り込む

①県内の地場産業・伝統工芸産地の持続と発展を後押しする

②「お互いプロジェクト」などにより海外展開を支援し、成長するアジアの需要を取り込む

③農林水産と食品加工、関連機械などアグリインダストリーを振興する

④舞若道や新幹線の整備を機に福井の観光の力をパワーアップする

（3）産業支援機関のレベルアップ

①産業支援機関や施設全体の機能を強化する

基本戦略2 人口減少社会に対応し、一人ひとりの能力を高め、人を呼び込む

全国トップの産業人材を育て、企業の原動力にする

女性や若者等に魅力のある職場を福井につくり、呼び込む

基本戦略3 小さな企業を応援し、地域でお金を回す

ローカル経済を維持する小さな企業を応援する

産業の地産地消により県内でお金を回す

県内企業の県民への見える化を進める

現行の福井経済新戦略について

<総合的な数値目標の進捗状況>

		改訂当時（2015）	最新値（改訂当時比）
全体	県内総生産(実質) ※1	3兆 225億円	3兆1,179億円（+ 3.2%）
	一人当たり県民所得	2,988千円	3,195千円（+ 6.9%）
ものづくり	製造品出荷額等	1兆8,301億円	2兆 437億円（+11.7%）
	労働生産性	5,105千円	6,683千円（+ 30.9%）
商業 サービス業	3次産業の付加価値額 ※1	1兆9,958億円	2兆 135億円（+ 0.9%）
	労働生産性	3,811千円	4,639千円（+ 21.7%）
農林水産業	農林水産業産出額	572億円	573億円（+ 0.2%）

※ 数値は各時点において把握している直近による

※1 電気業を除く

<現在の経済情勢>

- ◆経済成長率：2018年度の福井県の実質経済成長率は、前年度比+2.4%と、4年連続のプラス成長の見通し。福井県経済は、全国と比べ高い経済成長を続けている。

	福井県	石川県	富山県	全国
経済成長率（実質）	+2.4%	+1.8%	+1.4%	+1.5%

現行の福井経済新戦略について（主なプロジェクト）

プロジェクト	施策の方向性	改訂時の状況（2015）	現在の進捗
地域のイノベーションの仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> 「ふくいオープンイノベーション推進機構」設置。 「自治体初の人工衛星」を開発、打上げ。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の大学、公設試等と企業との共同研究・受託研究の件数 319件 	 367件（H29）
		<ul style="list-style-type: none"> 医療産業への参入 売上 80億円 参入企業 30社 	 103億円（H29） 63社（H29）
県内の地場産業・伝統工芸産地の持続と発展を後押しする	< A. 繊維産業 > <ul style="list-style-type: none"> 産地企業の業種横断での企業連携を支援。 炭素繊維複合材料を用いた生産の拠点化やグローバル展開による販路拡大。 	<ul style="list-style-type: none"> 繊維産業の製造品出荷額 2,347億円 	 2,437億円（H28）
		<ul style="list-style-type: none"> 炭素繊維の売上 12億円 	 14.1億円（H28）
	< B. 眼鏡産業 > <ul style="list-style-type: none"> 産地企業主導の販路開拓を後押し。 海外市場への進出を支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 眼鏡産業の製造品出荷額 569億円 	 691億円（H28）
本県企業の海外展開を支援し、成長するアジアの需要を取り込む	<ul style="list-style-type: none"> 東アジアとの経済協力関係を活かした現地での本県企業の経済活動支援 国際競争力の強化を図る海外展開を支援 	<ul style="list-style-type: none"> アジア進出企業の現地売上額 975億円 	 1,735億円（H28）
女性や若者に魅力のある職場を福井につくり、呼び込む	<ul style="list-style-type: none"> 製造部門に加えて、本社機能の一部移転等を働きかけ、若者や女性に人気のある職場や職種を増やす。 嶺南・奥越地域などで新たな産業用地を確保。 	<ul style="list-style-type: none"> 新增設を含めた企業立地件数 32件 	 36件（H28） （累計101件）

○新戦略に記載されたプロジェクトの進捗状況
…数値目標の9割以上が順調に進捗

個別プロジェクトの進捗状況	件数（割合）
順調に進捗しているもの	48件（91%）
目標を下回って進捗しているもの	5件（9%）
合計	53件

現行の福井経済新戦略について（その他の取組み）

プロジェクト	実施した施策	成果
地域のイノベーションの仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> 県民衛星を2020年度に打上げ予定。 2019年「宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）」を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙産業への県内企業参入数 25社（H27）→51社（H29）
ものづくりの革新などの波に乗り、新しいビジネスをつくる	<ul style="list-style-type: none"> 「AIビジネス・オープンラボ」を30年11月に産業情報センターに設置。 	
本県企業の海外展開を支援し、成長するアジアの需要を取り込む	<ul style="list-style-type: none"> 香港にアンテナショップを30年10月設置。 	<ul style="list-style-type: none"> アジアへの新規輸出 41件（H27）→134件（H29） アジアへの拠点開設 16件（H27）→50件（H29）
産業支援機関や施設全体の機能を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ふくい産業支援センター嶺南サテライトオフィスを29年3月に設置。 「ものづくりキャンパス」をサンドーム福井に28年11月に設置。 「越前古窯博物館」を29年10月に設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 嶺南企業支援数 141社（H27）→537社（H29）
女性や若者に魅力のある職場を福井につくり、呼び込む	<ul style="list-style-type: none"> 「人材確保支援センター」を30年4月に福井商工会議所内に設置。 若狭美浜インター産業団地を28年度に分譲開始。敦賀市第2産業団地が30年度に分譲開始予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 立地企業数 32社（H27）→101社（H29）
エリア別戦略	<ul style="list-style-type: none"> 海外からのクルーズ客船寄港を29年9月に初めて実現。 	

○海外クルーズ客船寄港
【29年9月、敦賀港】



○越前古窯博物館
【29年10月、越前陶芸村】

